

事務局 〒028-3310 紫波町日詰駅前1-10-2赤石公民館内 Tel 019-676-3999 会長 高橋敬明 Tel 090-3125-3776

＊＊ ー岩手県立博物館テーマ展『比爪ーもう一つの平泉ー』パンフレット18頁ー

3 比爪ー奥州藤原氏第二の拠点ー ③ 外縁遺跡

◀ 蓮華廃寺(紫波町赤沢字向井他)(3) ▶

周囲の地形や方位から判断すると、白山神社が鎮座する丘陵の南麓の薬師堂付近からその西側が「蓮華寺」の中心部分と推測され、磨崖碑付近が西限、薬師堂東南の南北両側の丘陵が迫り出している付近が東限と推測されます。おおよそ、東西300m、南北500mの範囲が寺域と推測されます。

12世紀代に、このような大規模の寺院を創建、維持するにあたっては、比爪の奥州藤原氏との関わりは不可欠であったと考えられます。白山神社南麓の板碑群の中の嘉暦4年(1329)銘の阿弥陀三尊種子板碑は、平泉初代清衡の父藤原経清の母の墓碑という伝承があります。もとより嘉暦碑が、経清の母の墓碑ではあり得ませんが、この様な伝承の存在は、「蓮華寺」と奥州藤原氏との関連から派生したと推測されます。

◀◀◀ 4月～5月行事予定のお知らせ ▶▶▶

4月14日 (日曜日)	平成31年度定期総会	※ 期日に変更になりました。ご注意ください。 午後2時から 赤石公民館 講義室 ◎ 総会終了後、会員交流会(参加費1,000円)を開催します。
4月17日 (水曜日)	第101回月例発表会	午後7時から午後9時まで 発表者：高橋敬明 テーマ：鎌倉時代の紫波 6 発表者：阿部朋巳 テーマ：ハスの植物学的特性
5月15日 (水曜日)	第102回月例発表会	午後7時から午後9時まで 発表者： } 未定 テーマ： }

◀◀◀ 設立10周年記念行事 ▶▶▶

☆ 北海道の樋爪千鶴子様から、御祝いのお手紙をいただきました。

元気シニア応援団体事業の認定を心から嬉しく、皆様のご尽力の賜物とお慶び申し上げます。会員の皆様、発表された方々、小学生等への出前講座など、地道なご研鑽がついに公に届いた結果の認定、おめでとうございます。思わずペンをとってお祝いの言葉・祝意をお伝えしようと思ひ書いています。

☆ 紫波町地域づくり活動補助金公開事業提案会が、3月24日(日)午後1時30分から情報交流館の大スタジオで開催されました。当会では、サミット「全国の樋爪さん大集合in紫波」事業を提案し、10分間のプレゼンテーションを行いました。終了後の審査員長講評では、「10年の実績をステップとし、全国の樋爪さんに呼びかけたサミットの発想が素晴らしい。情報発信に工夫が必要。とても楽しみな企画だ。」の指摘・評価をいただき対象事業として認定されました。

会場に足を運び応援してくださった会員各位に感謝しています。ありがとうございました。

【城内遺跡—昭和59年度発掘調査報告—】(3) <昭和60年3月 紫波町教育委員会>

V 調査のまとめ

城内遺跡の緊急発掘調査の概要は、以上のとおりである。以下、検出遺構、遺物について若干の考察を加えながらまとめてみる。しかし何度も記したように、時間的・経済的制約からすべてのものを整理できなかったため、ここでは、あくまでも概略的なものとどめておきたい。

1、遺構

今回の調査で検出した遺構は、竪穴住居跡と想定した遺構5棟である。

これらは、いずれも基本的層位のうちⅡ層(黒褐色土)中に床面を形成しているため、埋土がほとんどⅡ層と判別がつきにくい。したがって、プラン的には、明確に確認できなかったというのも事実である。しかし、その他の炉跡、柱穴の配置状況、遺物の出土状況などの点を考え合わせて住居跡とした。

これらの住居跡5棟に共通する点は、(1号は調査区外に延長、5号は重複により断定はできないが)規模的には、ほぼ径が4m強で楕円形から円形状の形態を呈し、壁際に柱穴を配し、ほぼ中央部付近(若干北よりだが)に炉が存在する。

また、炉の周囲には遺物が少なく、むしろ、壁際もしくはその外側の方が量的には多い。特に、4号住居跡については、南側にひとかたまりに出土している。この事は、住居の廃棄と同時に、生活用具として利用した土器類などを住居外へ除去する行為を想定させる。

~~~~ 平成30年度臨時総会 開催 ~~~~

平成30年度臨時総会が、平成31年3月20日(水)午後6時30分から赤石公民館講義室で開催されました。議案は会の名称変更で、次のように会の名称を改めることが決定しました。

平成32年(新元号2年)4月1日から、「ひづめ館懇話会」を「槌爪館懇話会」とする。

月例発表会が100回目を達成 !



平成21年8月19日に第1回がスタートした月例会が今月で100回となりました。当初は月例懇話会でしたが、会の名称と紛らわしいことから月例発表会となり定着してきました。

3月20日の第100回月例発表会では、開会に先立ち参加者全員で記念撮影。平井副会長の特別発表「槌爪館は移転したか?」のときは時間超過するほど活発な質疑が交わされ、途中から茶話会に移行? 出席者全員が発言して和気藹々のうちに記念の会の幕が閉じました。

※ 前号の裏面の下から3行目(H.31.9.2)は誤りで、正しくは(H.30.9.2)でした。お詫びして訂正します。